取 扱 説 明 書

広告幕装置「メディアタワー」下手巻式

スタンダードタイプ

（MTST－S型）

ご使用者向け

・ご使用になるお客様に必ずお渡し下さい。
・お客様はご使用になる前に、必ずお読み下さい。

取付け前の用意とチェック

① 広告幕

・幕固定用のハトメの数はバトン（幕取付けパイプ）の数と合っていますか。
・針金は、ビニ鉄の線の太さが2㎜ 以上の物をご使用下さい。

② 安全帯

・万一の転落防止のために備えて下さい。

③ 踏み台か脚立

ハンドル操作が高所の場合、転落防止のため安全帯を使用して安定した踏み台で作業を行って下さい。

ご注意ください

●幕を付けずに誘導バトンの昇降を確認する場合
下記に該当する装置は幕をつけずに誘導バトンを上げるとバトンが降りない場合がありますのでご注意ください。

装置寸法
・装置幅 0．9m以上で装置高さ 16m以上の装置
又は
・装置幅 0．9m以下で装置高さ 10m以上の装置

⇒ 誘導バトンに中間バトン 5 本以上をひも等で結束してから誘導バトン昇降の確認をしてください。
（バトン同士はスキマをあけて結束）

幕の取付け方法

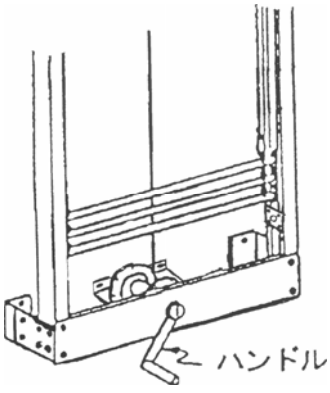
① 幕を取り付ける前に、転落防止のため、用意した安全帯を丈夫な手すりまたは、装置の桟に固定して、安全を確認して下さい。

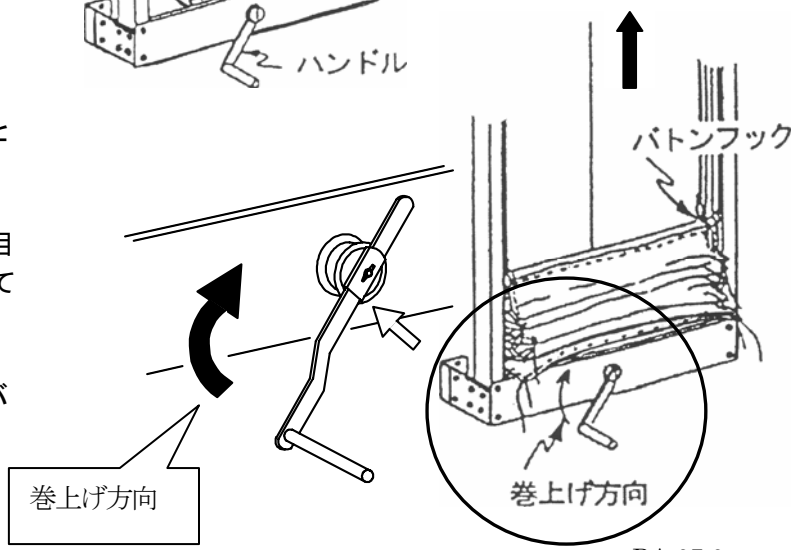
② ウインチハンドルをウインチに差し込みネジで固定して下さい。

③ 幕の上部のリングと誘導バトンフックと針金で丈夫に固定して下さい。

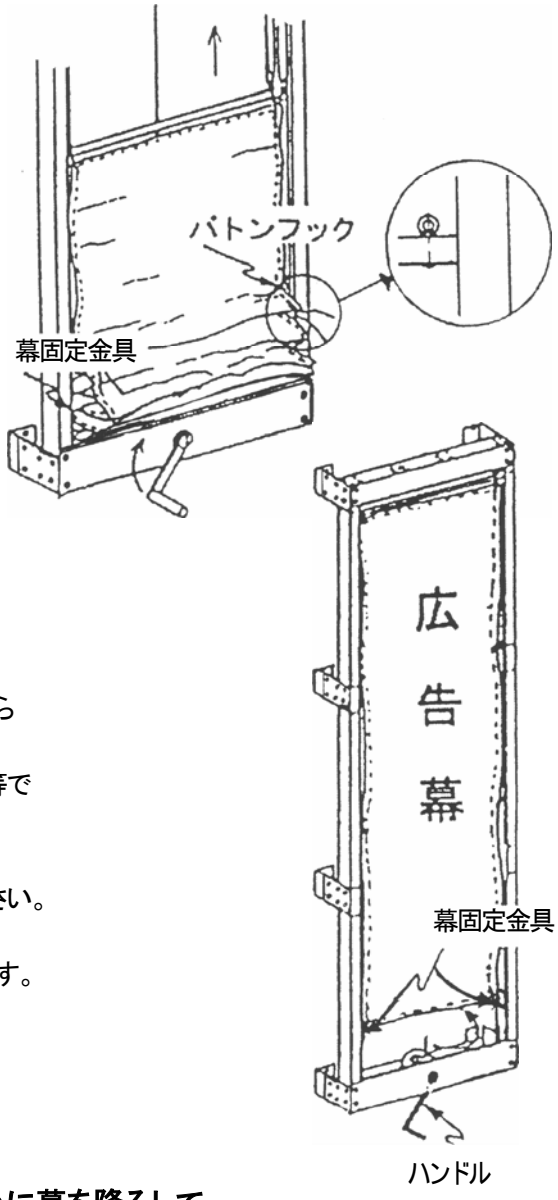
④ 上部を固定したら、次のリングが2段目のバトンに来る所まで 幕を巻き上げて下さい。

⑤ 誘導バトンに取付けた要領で残りのバトンフックに針金で幕を縛って下さい。
針金はしっかり結んで下さい。





⑥　誘導バトンを巻き上げて幕を張って下さい。
誘導バトンがストッパー当たる手前で幕が張っている状態が正常な状態です。
幕が張らない場合は、幕が長いためです。
幕の下側で高さ調整して下さい。
必要以上にウインチを巻くとブレーキがきき過ぎ、ウインチが故障します。
きき過ぎてハンドルを左に回しても回らなくなった場合は、木片等で衝撃を与えて回して下さい。その際衝撃でハンドルが回りすぎる事があるので注意して下さい。



⑦　バトン全部に幕が付いたら、最下部のリングを幕固定金具のバトンフックに、縛って下さい。

⑧　幕の装着が完了したら、危険防止のため、ウインチからハンドルを抜いて、所定の場所に保管して下さい。
取りつけたままだとイタズラまたは、ボルトのゆるみ等で落下する原因になります。

⑨　幕を降ろす時はハンドルを左に回し、幕を降ろして下さい。
幕が降りたら、ハンドルを回さないで下さい。
必要以上にワイヤーを出すと、もつれる原因になります。

ご 注 意

- **強風時（風速15m／s以上の時）は、速やかに幕を降ろして下さい。**
  取り付けたままだと、幕・装置・壁が破損することがあります。
- **長期間幕を取付けない時は、危険防止のためバトンを装置下部まで下げて、バトン全部の両端をひもで縛って下さい。**
- **幕は全部のバトンに針金で完全に固定して下さい。**
- **複数の懸垂幕装置にまたがって1枚の幕を取付ける場合、必ず全てのバトンフックに幕を結束して下さい。幕の両端部だけの結束で使用しますと装置の故障につながります。**
- **間引き固定をした場合、幕の破損につながる恐れがあります。**
- **完全に固定しないと、雨や風で針金が緩むことがあります。**
- **作業時、工具等を使用する時には、使用のペンチ等工具は、ひも等を使って落下防止の処置をして下さい。**
- **強風後、ボルト・ナットの緩みがないか点検し、締め直して下さい。**
- **本体（メディアタワー）と躯体との間に緩衝用ゴムを使用されている場合、ゴムの劣化によるボルト・ナットの緩みが考えられますので定期的に検査をし、緩んでいる場合は締め直して下さい。**

- **この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。**
- **この取扱説明書はお読みになった後、大切に保管して下さい。**

（株）ダイケン　HW 事業部　岡山工場
TEL. 086－297－2301